A-253

305524

□要

□明

A-253□胞株は、顎下唾液腺の表皮様癌から樹立されたヒト上皮 □胞株である。この□胞モデルは、唾液腺の病態生理、特にシェーグレン症候群（ SS）のような自己免疫疾患に関する研究に広く利用されている。 SSは外分泌腺に影響を及ぼす慢性自己免疫疾患であり、口渇（口腔乾燥症）やドライアイ（乾性角結膜炎）といった症状を引き起こすほか、腺組織の損傷も引き起こす。 A-253□胞を用いた研究により、SS患者に認められる抗Ro抗体や抗La抗体などの特定の自己抗体が、内因性および外因性の両方の経路を通じてアポトーシスを誘発することが示されている。 これは、□胞表面のFcガンマ（Fcγ）受容体との相互作用を介して起こり、これらの自己抗体の□胞内取り込みと、カスパーゼ、具体的にはカスパーゼ -3、カスパーゼ-8、およびカスパーゼ-9が関与するアポトーシスシグナル伝達カスケードの活性化につながる。
また、A-253 □胞株に対するハーブ由来の多糖類、特にデンドロビウム・オフィシナレ（ Dendrobium officinale）由来の多糖類の影響についても研究が行われており、腫瘍壊死因子-α（TNF-α）によって誘導されるアポトーシスに対して、潜在的な保護効果があることが示されています。 これらの多糖類による前処理を行った場合、A-253□胞では、活性酸素種（ROS）の生成減少、ミトコンドリア膜電位の維持、核因子カッパ B（NF-κB）の核への転位減少など、TNF-αによって誘導されるアポトーシスマーカーの低減が認められる。これらの知見は、唾液腺における免疫関連の損傷を軽減する上で、また、過剰なアポトーシスが腺機能不全や炎症の一因となっているシェーグレン症候群（SS）のような自己免疫疾患に対して新たな治療的アプローチを提供する上で、こうした多糖類が果たしうる役割を示唆している。
全体として、A-253 □胞は、唾液腺□胞のアポトーシスおよび自己免疫性唾液腺障害の根底にある分子メカニズムを理解するための重要なモデルとなっています。 これには、カスパーゼの活性化、ミトコンドリアの不安定化、および炎症誘発性サイトカインの影響に関する研究が含まれ、これらはシェーグレン症候群だけでなく、上皮　□胞の回復力や免疫相互作用に関するより広範な研究においても関連性がある。

ティッシュ	顎下腺
病気	扁平上皮癌

同義語

- A 253
- A253

分類

生物	人間
セックス	男性
成長特性	アドヘレント
バイオセーフティレベル	1

特徴

形態学	上皮
腫瘍形成性	はい、ヌードマウスおよび抗胸腺 □胞血清を投与された新生マウスにおいて

識別子

引用

A-253（Cytion カタログ番号 305524）

NCBI 納税者番号	9606
セロサウルス	CVCL_1060

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

取り扱いと飼育

培地

McCoys 5a ´ w: 3.0g/L グルコース、w: 安定グルタミン、w: 2.0mM ピルビン酸ナトリウム、w: 2.2g/L NaHCO3 (Cytion article number 820200a)

培養雰囲気	37℃ ´ 5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に10% FBSを加える

解離試薬	アキュターゼ

継代培養

接着した□胞から古いメデュームを取り除き、カルシウムとマグネシウ ムを除いたPBSで洗浄する。T25フラスコでは3-5ml ´ T75フラスコでは5-10mlのPBSを使用する。次に、T25フラスコでは1-2ml ´ T75フラスコでは2.5mlのアキュターゼで□胞を完全に覆う。室温で8-10分間インキュベートし、□胞を剥離させる。インキュベーション後、□胞を10mlの培地と静かに混合して再懸濁し、300xgで3分間遠心する。上清を捨て、□胞を新しいメデュームに懸濁し、新しいメデュームの入った新しいフラスコに移す。

播種密度	2-4×10^4/cm²

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染は、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
□菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、 □胞培養物は毎日目視検査が行われる。

凍結培地	凍結保存培地としては、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）+10%DMSO、または回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150~-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された□胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢	54年
民族	ヨーロピアン

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中または液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスクまたは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオンは、製品の品質と生存率を保証します。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、□胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／または製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳□については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB